

令和3年 秋田県県北地区介護支援専門員協会第2回研修会について（開催報告）

日時：令和3年11月13日（土曜日） 午後1時30分～午後4時
形式：オンライン(Zoom) 開催
参加者：40名

秋田県県北地区介護支援専門員協会の第2回研修会が上記の日程で開催されました。

今回の研修会は「APC再考 ～ケアマネジメント実践を振り返って～」をテーマに大館市居宅介護支援事業所連絡会様との共催により2部構成で行われました。

第1部は青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 児玉寛子教授より①ACPとは何か②ケアマネジャーのACP実践についてご講演いただきました。ACP(アドバンス・ケア・プランニング)は「将来の医療・ケアについて、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスである」、人生の最期まで本人らしく生きることを支援すること。APCの実践では、認知症の方の意思決定支援について大変分かりやすくお話していただきました。ケアマネジャーとしての支援の在り方を勉強させていただきました。

第2部は児玉教授に加え葛西孝幸助教にも参加いただき、ガン末期患者の事例についてグループワーク、ロールプレイを行いました。話し合いの中では、「本人の言葉の裏にある真意を引き出せなかった。もう少し汲み取ればよかった。」「本人の思いについて、家族とスタッフの共有ができていなかった」などの意見が出され、本人、家族の思いを受け止め寄り添うことや、情報の共有、対話など、日々の業務でも大切なことを再認識することができました。

今回の研修会は完全オンライン形式となり不手際もあったと思いますが、参加していただいた皆様には最後までお付き合いいただきありがとうございました。

来年度に向け、介護支援専門員の皆様に実りのある研修会の開催を目指しておりますので、幅広くご参加いただければと思います。

